

# エンカウンター（ENCOUNTER）

## 第 52 号

平成 18 年 8 月 20 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

## L・B・カウマン「山頂をめざして」より（7）

9月6日

見よ、わたしはシオンに  
一つの石をすえて基（もと）とした。  
これは試みを経た石、  
堅くすえた尊い隅の石である。  
『信ずるものはあわてることはない。』

（イザヤ 28・16）

ルターをよく知っているある人が、メランヒトンにこう書き送った。

「私は、この苦しい煩わしいときにあって、彼（ルター）の驚くべき快活、節操、信仰、希望を、どんなに賞賛してもし過ぎることはありません。彼は、神のみことばである聖書を、非常に勤勉に研究することによって、このような祝福に満ちた状態を、常に養い育てているのです。そして、一日のうち最上の時を少なくとも3時間、祈りに費やさない日は、一日としてないのです。…」

ウィルバーフォースは、その息子にこう書き送った。

「私があなたにお願いするのは次の事です。決して、朝の祈りを無

視したり、短くしたり、急いで済ませたりするようなことがあってはなりません。特に、密室における神との交わりをおろそかにしないように、注意しなさい。信仰生活において、これほど致命的なものはないのです。もし私が神との更に親しい交わりに入るならば、私は今までよりも更にまさって、すばらしく神にお仕えすることができるでしょう。」

あわただしい祈りは、興奮と失敗をもたらす。祈りに時間を費やす事は、時間の節約になる。

「ひそかにイエスのみもとに行きなさい」。彼は、今この瞬間にも、あなたの近くにおられる。

9月11日

読む事に心を用いなさい。(第1テモテ 4.13 英訳)

あなたはどんな本を読んでいるか。...

今度あなたが読書するとき、自分自身に対して次のような質問を試みなさい。

この書物は私の品性を強めるか。それとも、徐々に、巧妙に、それを弱めるか。

私の理想、私の感受性を高めるか。...

それは私を更にすばらしいキリスト者とするか。...

私の選択は、洗練された趣味を示しているか。それとも、低級な趣味を示しているか。...

私はこの書物を読んだ結果、精神的な入浴をしたように、さわやかな気持ちになるだろうか。...

これは、この時に私のなしうる最上の種類の読書であろうか。...

説教より抜粋

私たちが読む物は、私たちの人格を反映している！

9月15日

しかし霊がわたしのうちにはいって、わたしを立ちあがらせ、わたしに語って言った。「行ってあなたの家にこもっていなさい。」

(エゼキエル書 3・24)

この世のすべてのものを離れて  
イエスとともにあること、  
マリヤの選んだ「良い方」の  
あたたかく美しい交わりを楽しむこと、  
それはすばらしい事だ。

神と共にあるための場所 あなたにとって親しみ深い場所  
をつくりなさい。そして、神とともにある時を持ちなさい。それを  
いつ持つか、それは私の申し上げる事ではない。...しかし、時を持  
ちなさい もしできるならば何度でも しかし、少なくとも一  
日に一度は神と共にある時を持ちなさい。私たちは皆、強く健康な  
青年にとって朝ほどすばらしい時はないということに同意するであ  
ろう。次のことを覚えなさい。すなわち、もしあなたが5分間以上  
の時間をさくことができないならば、神はその5分間に驚くべき量  
のわざをなさる。...戸が閉ざされ、この地上における最愛の者が排  
除され、魂が顔と顔とを合わせて神にまみえる時を持ちなさい。

あるキリスト者の青年が、イエスのためにあかしをし、自分の信  
仰生活の秘訣を語って言った、「私は回心したとき以来、朝ごとに主  
とのお交わりの時を持っています」と。彼の顔は輝いていた。愛す  
る青年たちよ、あなたがたは喜びに満たされた生涯を送りたいと望  
んでいるか。決してかれることがなく、また凍ることのない井戸に  
よって生活したいと望んでいるか。神と交わる朝の時ほどすばらし  
い時はない。そのときに受けた恵みは、それに続く一日のすべての  
時を通じて満ちあふれるのである。...

ハドソン・テラー

9月17日

あなたがたが全き人となり、神の御旨をことごとく確信して立つ  
ようにと、熱心に祈っている。（コロサイ 4・12）

あなたのゴールは  
どこかの幸福な島でなく  
快い色とりどりの庭園でもなかった。  
あなたはホームを見つけて  
そこで静かに休もうとは考えなかった。  
力強く探求の旅に乗り出した。  
あなたの不屈の船を誘惑する進路には  
氷のきばがあり、  
あなたを捕らえる夜は果てしなく続いていた。  
しかし、あなたの胸の中には  
あなたの心臓がたくましく鼓動していた。...

The Spirit of Amundsen

私のゴールは神ご自身、  
喜びや平安ではありません。  
祝福でさえありません。  
そうではなく  
神ご自身、私の神が私のゴールです。  
私をそこに導かれるのは神です、  
私ではなく神が導かれるのです。  
愛する主よ、  
それがどんなに困難でも、どんな道でも  
私は従って行きたいと思います。

すべての偉大な男女は、十字架の道を進む。険しい山に登ることを恐れてはならない。

彼とともに、今日、高い頂によじのぼりなさい！

9月18日

あなたがたは、この世と妥協してはならない。むしろ、心を新たにすることによって、造りかえられ、何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである。 (ローマ 12・2)

なんと多くの人々が、自分たちの前にある輝かしい可能性を決して実現せずに終わっていることであろう! ...

神はある定まった人を、ある定まった時に、ある定まった地位につかせようとしておられる。その地位は、その人、その時でなければ、他の何人も占めることのできないものである!

あなたの地位がどのようなものであろうと  
それはあなただけのものではない、  
あなたをそこに送られた方のものだ。

ジョン・オクセナム

私たちの人生は  
力強い働きをするための  
神からの小さな貸与物にすぎない。  
それがみこころをなすために  
用いられるとき、  
私たちは、天、星と一致する。

私たちが自分の人生に対する神のご計画を見のがすことは、実際に起こりうる事である。

9月23日

兄弟たちよ。各自は、その召されたままの状態、神のみまえに  
いるべきである。（第1コリント 7・24）

（その少年は、いなか生まれ、いなかで育った。彼の夢は、カレッジに行き、神学校に行き、牧師になることであつた。フリー・アカデミーに入学し、首席で卒業した。それから、彼は、重い病気にかかった。2年間耕し、種をまき、健康を回復し、自分の選んだカレッジに入学した。しかし、入学して最初の一週間で、苦痛とめまいがぶり返してきた。しだいに彼は悟った。牧師になることをあきらめ、家に帰って、農場で働く以外に道がないということ。）

彼は、着実に、自分を農場の仕事に適應させていった。彼の隣人たちにとって、彼の生活は、目に見える良心とでも言うべきものであつた。彼は、月曜日の朝から土曜日の夜まで、長時間働いた。しかし、その地の教会の朝拝と夕拝に必ず出席し、週の半ばにある祈り会も欠かしたことがなかつた。彼は日曜学校を教え、青年会の力の源であつた。教会は彼を長老として選んだ。そして、彼よりも年上の人々が次々と召されて彼らの安息の場所に行ってしまったので、彼はその地方の知的道徳的宗教的指導者となつたのである。

彼は決して講壇に立つたことはなかつた。しかし、キリスト者の農夫として、だれもが与えたいと熱望するような霊的影響力を及ぼしたのであつた。

The Youth's Companion

「そこにとどまり、  
私のために網を繕いなさい」

「戦いに下って行った者の分け前と、荷物のかたわらにとどまっていた者の分け前を同様にしなければならない」

（サムエル上 30・24）

9月26日

この時、神は夜の幻のうちにイスラエルに語って言われた、「ヤコブよ、ヤコブよ」。彼は言った、「ここにいます」。

(創世記46・2)

人はだれでも、神の御声を聞くことができる。人が耳を傾けると、神は語られる。神が語られるとき、人々は変えられる。人々が変えられるとき、諸国民も変えられる。...

チャールズ・カウマンは、「柔らかな優しい御声」を聞いた。神は語られた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい」。その結果は 東洋の全域に広がる幾百という宣教基地を持つザ・オリエンタル・ミッショナリー・ソサエティーである！

イザヤは、「だれがわれわれのために行くだろうか」という主の御声を聞いたとき、直ちに、「ここにわたしがおります。わたしをおつかわし下さい」と答えた。

私は、「従ってきなさい」と  
彼が呼びかけられるのを聞いた。  
それがすべてであった。  
私の黄金はかすかとなり  
私の心は彼のあとを追って行った。  
私は立ち上がり、そして従った、  
それがすべてであった。  
彼の呼びかけられるのを聞いて  
従わない者があるだろうか。



9月30日

わたしがあけぼのの翼をかって海のはてに住んでも、あなたのみ手はその所でわたしを導き、あなたの右のみ手は私を支えられます。（詩篇 139.9~10）

朝は、驚くべき光、露の新鮮さ、音楽、喜び、そして約束の時である！そして青年は人生の朝にいるのである。それは麗しい光、喜ばしい音楽、露の優美さ、すばらしい喜び、もたらされるべき約束の時である。それはビジョンの時であり、崇高な、幸福な、そして多様な、大望と熱心の時である。それは翼の時である。なぜなら、高く上ろうとするものは翼を持っていないから、そして、朝はその翼を持っている時だからである。

朝の二つの翼は信仰と誠実である。この二つの翼を用いることなしには、気高い生活、澄みきった上層の空気を楽しむことはできない。

しかし、この二つの翼は、二つのおもりによって勢いをそがれるかもしれない。...その二つのおもりとは、恐怖と愚劣である。真理を探求し、真理に聞くのを恐れること、心の奥底の神の御声に耳を傾けるのを恐れること、最上のものを尊び最高のものに従うのを恐れること　これほど信仰の翼を弱めるものはない。各時代の、偉大な、豊かな賜物を与えられている、先見の明のあるキリスト者の指導者たちに従わないことはおろかである。

この恐怖と愚劣の二つのおもりを捨てなさい！朝の翼をかって飛びなさい。この信仰と誠実の翼を伸ばしなさい。信仰と誠実をもってあなたの様々な経験に直面しなさい。信仰と誠実をテストしなさい！信仰と誠実を試みなさい！高い山に登りなさい。そうすれば、頂上の絶景とはるかな地平線と澄み渡った無限の空　その輝き、その平安　は、あなたのものとなるであろう。翼はあなたのものである！「あけぼのの翼をかって」　確実な、平静な、勇気に満ちた、恐れを知らない翼！

10月1日

こうして彼は直き心をもって彼らを牧し、巧みな手をもって彼らを導いた。（詩篇 78・72）

神は、すべての生涯を、偉大な生涯にしようと、備えておられるのである。

彼はあなたに、彼とのすばらしい交わりに入ることを促しておられる。この交わりの中から、あなたの発展、あなたの力、あなたの導きが生れる。すなわち、この交わりによって、あなたの成功がもたらされるのである。...あなたの生涯には、多くの失策があったかもしれない。しかし彼は、罪と、人生における大失敗とを正し、いやして下さるのである。

私たちがあらゆる真理に導くために、聖霊が私たちに与えられている。彼は私たちの教師であり、保護者であり、私たちをはげまし導くかたであられる。彼は、すべての生涯を偉大なものとするためにこの世につかわされたのである。その手順は、驚異的な、尊い親交によって、ひとりびとりのキリスト者の生活のうちに、イエスのご生涯を打ち立てることにある。聖霊は、人の意思を神のみことろと融合させる。

それゆえ、すべての生涯にとってたいせつな事は、神をお喜ばせる生活を送ることである。私たちの存在、私たちの言葉や行ないの中に、イエスのご生涯が浸透している、そのふんいきさえ、静寂と平安と愛に満ちている。このような生活は、この世の他の人々を慰め、力づけ、いやし、励ますのである。そのような生活を送っている人々を何人が持っている共同体は、まことに幸いである。一つの花がへやじゅうを麗しいかおりで満たすように、そのような生活を送っているひとりの人は、その共同体全体に影響を及ぼすのである。

ディーン・ダットン神学博士